

平成31年度

(令和元年度)

神戸リハビリテーション福祉専門学校

学校自己点検・評価報告書

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン 準拠

学校法人スマイル・アカデミー

1. 学校の教育目標

本校学則第1条（目的）に「本校は、理学療法士及び介護福祉士となるために必要な専門の知識及び技術を習得させ、併せて科学的知見と豊かな人間性を養い、社会の要請に応え得る有能な人材を育成することを目的とする」としており、医療・介護分野に関する職業人を要請しております。

私たちスマレ・アカデミーの願いは、現在の社会福祉に貢献すべく高い専門性と深い人間愛を兼ね備えた医療・福祉従事者として卒業生が活躍し続けることです。

本校に在学中の学生生活を充実させることは勿論のこと、卒業後の仕事においては「理学療法士」「介護福祉士」の国家資格を活かし、就業年数に相応しい知識・技術・見識を身に付け、職業人として10年・20年先まで中心的な人材として活躍できるように、卒業後も各種研修・研究の場を提供し、活用してもらえる教育機関でありたいと考えます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

（1） 理学療法学科に関して

昨年度は、「理学療法士」国家試験の新卒者の合格率90.9%と全国平均を上回った。臨床実習教育が結実した教育体制の下、進級率を引き上げ退学者数の減少、スキルアップ教育に取り組んでいく必要がある。

（2） 介護福祉科に関して

介護福祉士養成施設の定員充足率が、全国的に逡減している状況を踏まえ、在留資格「介護」による留学生受入増加により、学生数は増加傾向。教育水準は保ちつつ、今後は高校新卒者に限らず、離職者訓練等、多様なルートからの入学者確保のための工夫、広報活動が必要。

（3） キャリア支援講座

兵庫県指定の「認知症介護研修事業」を始め、地域医療に根差したりカレント教育に取り組んでいく。

3、評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|--|---------------------------|---|---|---|---|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか) | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・学校における職業教育の特色は何か。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構造を抱いているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 | ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーはパンフレットに明記されているが、SNSやHP等で告知。 |
| ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |

① 課題

・「ディプロ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」やシラバスをHP上で公開しているが、学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想等が十分に周知されているとは言えない。

② 今後の改善方策

・様々な媒体で学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想等を周知する。

③ 特記事項

3、評価項目の達成及び取組状況

(2) 学校運営

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|--|---------------------------|---|---|---|--------------------------------------|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・人事、給与に関する規定等は整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | 国家試験の合格率、就職率、シラバスはHPやSNS、パンフレットで公開済。 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 | |

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

3、評価項目の達成及び取組状況

(3) 教育活動

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|---|---------------------------|---|---|---|--|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | 教育課程編成委員会で収集した情報を教育課程の編成・実施方針等に反映し、教育課程変更を行った。 |
| ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか。 | 4 | 3 | 2 | ① | 授業の評価体制はない。 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 | 4 | ③ | 2 | 1 | |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組みが行われているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 | |

① 課題

- ・授業評価の体制が整っていない。
- ・外部研修は受講しているが、学内での研修が不十分である。

② 今後の改善方策

- ・速やかに授業評価の体制を整え、定期的に授業評価を実施する。
- ・外部関係者からの評価の受入態勢を強化する。
- ・実習巡回時に助言された内容について、講義運営に反映させる。
- ・学内研修の実施

③ 特記事項

3、評価項目の達成及び取組状況

(4) 学修成果

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|--|---------------------------|---|---|---|--|
| ・就職率の向上が図られているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・資格取得率の向上が図られているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・退学率の低減が図られているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 | 精神面に問題がある学生には適宜、個人面談を行っている。 学力面に問題がある学生には随時、質問を受け付け、補講を行っている。 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |

① 課題

- ・卒業後教育制度を利用している卒業生や学会発表、論文作成している卒業生の社会的な活躍及び評価は把握している。しかし、その他の卒業生・在校生の社会的な評価を把握できておらず、学内の教育活動の改善に活用できていない。
- ・進路変更による退学者が出ている
- ・国家試験の合格率が100%ではなかった。

② 今後の改善方策

- ・OB会の参加者を増やす。
- ・卒業生の近況を把握する。
- ・在校生の学外の取り組みを把握する。
- ・進路変更等の退学希望者については、個別面談を実施し、保護者とも連携の上で退学率の低減を図る。
- ・国家試験の受験対策講座の内容充実を図り、合格率を上げる。

③ 特記事項

| |
|--|
| |
|--|

3、評価項目の達成及び取組状況

(5) 学生支援

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|---|---------------------------|---|---|---|----------------------|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・学生の健康管理を担う体制はあるか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 | 施設利用に関して支援体制は整備している。 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・保護者と適切に連携しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・卒業生への支援体制はあるか。 | 4 | 3 | ② | 1 | 特にない。 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 | 特にない。 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 | 特にない。 |

① 課題

- ・卒業生に対する支援体制が整っていない。
- ・高校と連携した取り組みが行われていない。
- ・ボランティア活動だけで、他の課外活動ができる環境が構築できていない。

② 今後の改善方策

- ・同窓会などの金銭的支援を吟味する。
- ・高校のニーズを把握し、キャリア教育・職業教育を連携する。
- ・他の課外活動ができる環境を作る。

③ 特記事項

- ・就職支援として老人福祉事業協会等の就職説明会を開催している
- ・保護者に対して、各期の成績表を書面にて報告している
- ・卒後のスキルアップ研修として、臨床研修センター、医療的ケア実地研修認定、認知症介護実践研修を行っている。

3、評価項目の達成及び取組状況

(6) 教育環境

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | |
|---|---------------------------|---|---|---|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学内の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・防災に対する体制は整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- ・外部研修について、十分な教育体制が整備できていない。

② 今後の改善方策

- ・外部研修への参加を企画し、実行できる体制を確立する

③ 特記事項

3、評価項目の達成及び取組状況

(7) 学生の受入れ募集

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|-------------------------------|---------------------------|---|---|---|-------------------------------------|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 | 国家試験の合格率や就職率は、学校訪問やHP、SNSで正確に伝えている。 |
| ・学納金は妥当なものとなっているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |

① 課題

| |
|---------------------------------------|
| ・「介護」に対して建設的なイメージを持たれていない高校教員・保護者への対応 |
|---------------------------------------|

② 今後の改善方策

| |
|-------------------------------------|
| ・保護者向けの説明会の実施 ・高校教師や保護者向けの説明会の実施 |
|-------------------------------------|

③ 特記事項

| |
|--|
| |
|--|

3、評価項目の達成及び取組状況

(8) 財務

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | |
|----------------------------|---------------------------|---|---|---|
| ・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

| |
|--|
| |
|--|

② 今後の改善方策

| |
|--|
| |
|--|

③ 特記事項

| |
|--|
| |
|--|

3、評価項目の達成及び取組状況

(9) 法令等の遵守

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|---------------------------------|---------------------------|---|---|---|--|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | 法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営を行っている。 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | 個人情報の扱いに関して、学則に明記するとともに学生へ説明し、学内に掲示している。 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。 | 4 | 3 | 2 | ① | 自己評価の実施と問題点の改善を図っていない。 |
| ・自己評価結果を公開しているか。 | 4 | 3 | 2 | ① | 自己評価結果を公開していない。 |

① 課題

- ・自己評価を行っていないため、問題点の抽出ができない。

② 今後の改善方策

- ・自己評価の体制をつくり、自己評価を行う。

③ 特記事項

3、評価項目の達成及び取組状況

(10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|--|---------------------------|---|---|---|--|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | 中学生のトライアルウィークを受け入れている。他団体の講習会に講堂、教室、治療室を無償で提供している。 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |

① 課題

| |
|--|
| |
|--|

② 今後の改善方策

| |
|------------------------|
| ・ボランティアの情報を収集し、学生に伝える。 |
|------------------------|

③ 特記事項

| |
|---|
| ・ 離職者等再就職訓練の受託 ・ 認知症介護実践研修事業、介護福祉士実務者養成機関の指定 ・ 日本登山医学会、関西理学療法学会、兵庫県介護福祉士の各種研修への協力 |
|---|

3、評価項目の達成及び取組状況

(11) 国際交流

| 評価項目 | 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------|---|---|---|---------------------------|
| ・留学生の受入・派遣について戦略を持って行っているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・留学生の受入・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 | |
| ・学習成果が国内外で評価される取組みを取っているか。 | 4 | 3 | ② | 1 | 学習成果が国内外で評価される取組みは取っていない。 |

① 課題

| |
|-------------------|
| ・学習評価体制が構築できていない。 |
|-------------------|

② 今後の改善方策

| |
|---------------------|
| ・学習評価体制の構築に向けて研鑽する。 |
|---------------------|

③ 特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果